

学校経営等の概要

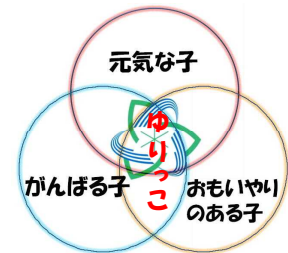
ゆり支援学校の目指す学校像

地域と共に歩み、地域で育ち、地域に必要とされるゆり支援学校

1 教育目標

児童生徒一人一人の生命及び人権を尊び、障害の特性や状態、発達段階に応じた適切な教育を行い、その可能性を最大限に追求して**自立と社会参加**を目指すとともに、**明るく豊かな心**をもった人間の育成に努める。

【目指す子ども像】



2 経営の基本方針

☆自立と社会参加を目指し、地域で豊かに生きる力の育成

- ・キャリア教育全体計画を根底に据えた小中高の一貫教育の実践
- ・個々の障害特性及び実態、教育的ニーズを踏まえ、卒業後の豊かな生活につながる教育計画の立案・実践

☆同僚性の下で教職員が協働による創造を目指す

- ・切磋琢磨し特別支援教育の専門性を互いに高め合う教師集団
- ・授業のねらいを明確にし、評価を積み重ねる授業実践

3 重点事項

<道川分教室>

- 研究主題「人との関わりを広げる授業づくり～自分の気持ちを表し、伝える姿を目指して～」を具現化する授業実践及び情報発信
- 児童生徒一人一人に応じた創意ある教育活動の実践
- 個別の支援計画に基づく、病院や保護者と連携したきめ細かで丁寧な指導
- 職員一人一人の指導力と専門性の向上
 - ・外部人材を活用した公開授業研究会及び研修会、学習会等の開催及び情報発信
- 病弱教育に関する情報収集・提供及び小・中学校等のニーズに応じた具体的な指導や助言、提案等によるセンター的機能の推進
 - ・病弱・身体虚弱特別支援学級設置小・中学校訪問の継続実施。
 - ・病弱教育地区別情報交換会、病弱教育研修会の開催。
 - ・平成30年度東北病連研究協議会秋田大会開催に向けた適切かつ計画的な準備の遂行

<本校・分教室>

- *みんなで創る特別支援教育推進事業<本校・分教室>
- *コミュニティ・スクール導入促進事業<本校>
- *病弱・肢体不自由教育支援事業<分教室>

4 概要（道川分教室）

（1）児童生徒

小学部： 1名（2年生1名）

中学部： 1名（3年生1名）

高等部： 7名（1年生2名、2年3名、3年2名） ※うち過年度卒業生4名

計： 9名

（2）教職員

総数： 12名 ※教頭1名、小・中学部3名、高等部：8名

（3）教育課程

①自立活動を主とした教育課程編成

②週単位時間：小・中学部＝週14単位時間、高等部＝週14単位時間

（摂食指導のある生徒は週16単位時間）

（4）授業時間

Iの時間 9：45～10：30（45分間）

IIの時間 10：40～11：30（50分間）

IIIの時間 11：40～12：25（45分間）

IVの時間 14：15～15：00（45分間）

（5）沿革

- ・平成16年度「独立行政法人 国立病院機構 あきた病院」内に設置している。
- ・対象児童生徒はあきた病院重症心身障害児（者）病棟に入院しており、訪問教育として実施している。
- ・平成22年度の秋田養護学校閉校に伴い、ゆり養護学校に移管され「ゆり養護学校道川分教室」となる。
- ・平成25～27年度、文部科学省委託特別支援学校機能強化モデル事業「特別支援学校ネットワーク構築事業」を推進した。
- ・平成28年度学校名が「秋田県立ゆり支援学校道川分教室」となる。
- ・平成28～29年度、秋田県教育委員会インクルーシブ教育システム構築推進事業「病弱・肢体不自由教育支援事業」を推進している。

（6）特色

- ①病院内訪問教育として学習指導を行っている。
- ②重度・重複障害教育の充実を図っている。自立活動を中心とした教育課程を編成し、個に応じた指導を通して、発達の可能性を追求している。そのための教材・教具の開発やICTの活用を積極的に進め、情報発信に努めている。
- ③県内外の病弱教育のネットワーク構築に協力している。東北及び全国の病弱虚弱教育研究連盟に加盟して情報収集に努めている。また、県内の病弱・身体虚弱特別支援学級や県内各特別支援学校のニーズに応じた情報提供や支援を行っている。